

動物実験に関する自己点検・評価報告書

兵庫県立大学 環境人間キャンパス

2023年4月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>兵庫県立大学動物実験規程（機関内規程）</p> <p>兵庫県立大学環境人間学部動物実験規程（機関内規程に基づく部局内規程）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（環境省）、「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（文科省）に則った機関内規程が定められ、それに基づいた部局内規程で運用されているが、後述する不備がある。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>上記動物実験規程を次年度中に改訂する予定である。</p>

2. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>兵庫県立大学環境人間学部動物実験規程</p> <p>令和 4 年度環境人間学部・環境人間学研究科各種委員会 名簿</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>部局内規程で定められた人員で委員会が構成されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

3. 動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p>

兵庫県立大学動物実験規程及び兵庫県立大学環境人間学部動物実験規程 動物実験計画書様式、実施計画変更申請書様式、審査結果通知書様式、研究実施状況報告書様式
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 部局内規程により適正に進められているが、一部飼養保管に関する記録の様式に不備がある。
4) 改善の方針、達成予定時期 次年度中に飼養保管に関する様式を整備し運用する。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 兵庫県立大学環境人間学部動物実験規程 兵庫県立大学環境人間学部 安全の手引き（兵庫県立大学環境人間学部安全管理委員会）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 実験動物から咬傷を受けた際の対応が記載されていない。
4) 改善の方針、達成予定時期 上記の安全の手引きに実験動物による咬傷を受けた際の対応を記載する。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 兵庫県立大学環境人間学部動物実験規程 動物実験計画書及び研究実施状況報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） これまで実験動物管理者による教育訓練、研究責任者の研究計画書に記載された方法に従って適切に実施されているが、施設に常備する飼養保管マニュアルや実施の記録を作成していない。
4) 改善の方針、達成予定時期 実験動物飼養保管マニュアルを定めるとともに、飼育作業報告書と実験動物保管管理簿を作成して月末に提出を求めることにより、適切な飼養を随時確認できるようにする。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

--

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>兵庫県立大学環境人間学部動物実験規程 動物実験委員会内各種メール審議記録</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究計画書の審査は申請の都度メール審議を行い、計画段階における意見交換・助言を行った。 ・ 実験動物管理者により、新規動物実験従事者（飼養者含む）に随時教育訓練を実施した。 ・ 動物実験施設の環境管理や整備を随時行った。 ・ 自己点検・評価を行った。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験計画書 研究実施状況報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>9 件の動物実験が実施された。1 件のみ計画書に記載された使用予定動物数の超過が報告されたが、動物納入業者による輸送時の不測の事態のための予備動物として納入されたものであり、研究代表者の計画によらないため逸脱とは言えないと判断した。その他は計画書通りに進行されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p>

<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画書 研究実施状況報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 特に安全管理上問題となることはなかった。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（平成 25 年環境省告示第 84 号） 兵庫県立大学動物実験規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 実験動物は適正に飼養保管にされているが、飼養状況を把握する記録の不備があった。
4) 改善の方針、達成予定時期 飼育作業報告書と実験動物保管管理簿を作成して月末に提出を求めることにより、適切な飼養を随時確認できるようにする。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（平成 25 年環境省告示第 84 号）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・ 臭気の防止のため、実験計画書には床敷きの交換頻度を記載させている。また汚物は蓋つきの容器に入れ、可能な限り迅速に搬出するよう努めている。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 動物の生理に合わせてタイマーにより明暗を管理している。 ・ 温湿度管理はエアコンや加湿器で適正に実施されている。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>各実験室及び飼育室にリアルタイムでモニター・経時的記録できる温湿度計を設置した。</p>

6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>兵庫県立大学環境人間学部動物実験教育訓練</p> <p>「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」(平成 25 年環境省告示第 84 号)</p> <p>「動物実験の適性な実施に向けたガイドライン」(2006 年 日本学術会議)</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>実験動物管理者により 4 回、再教育含め延べ 24 名に対して、3Rs (Replacement, Reduction, Refinement) の考え方とそれらの具体例、本施設における実践方法、逸走防止のための対策方法、飼養管理やその記録に関する方法、生命の尊厳について説明がなされた。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>規程の改訂に伴い、再教育訓練を実施する予定である。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験計画書</p> <p>研究実施状況報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>1 件のみ計画書に記載された使用予定動物数の超過が報告されたが、動物納入業者による輸送時の不測の事態のための予備動物として納入された 1 匹であり、研究代表者の計画によらないため逸脱とは言えないと判断した。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p>

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

魚類（メダカ）を使用する研究が実施されているが、部局規程に準じて審査・報告を求めている。

【使用動物数】

① 令和4年度動物実験件数 9件

② 使用動物総数

マウス：305匹

ラット：165匹

メダカ：17匹